

■米国：FERCのマクナミー委員が辞任の意向を表明

2020年1月24日付の現地報道によると、連邦エネルギー規制委員会（FERC）のバーナード・マクナミー委員（共和党）が2020年1月23日、次の任期を継続しない旨を表明した。同委員は2019年1月に死亡したケビン・マッキンタイア委員の任期を引き継いだため、2020年6月30日で任期満了となる。FERCは2019年にロバート・ポウエルソン委員（共和党）とシェリル・ラフラー委員（民主党）が辞任した後、後任が空席のままとなっており、ニール・チャタジー委員長（共和党）、リチャード・グリック委員（民主党）、バーナード・マクナミー委員の3人体制できたが、マクナミー委員が辞任すると定足数3人を満たせなくなり、エネルギー規制委員会としての業務に支障を来すおそれがある。マクナミー委員が任期満了後も2020年末までFERCにとどまるか、後任が任命、承認されるまで、どちらか早い方まで委員を継続するという可能性も残されている。